

# 橘の社会福祉



(社会福祉協議会の会章)

橘の社会福祉「第44号」

発行所 橘地区社会福祉協議会(事務局) 川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき 3F 福祉パルたち内  
TEL 044-812-5500 発行人 小宮 秀樹 編集人 機関紙編集委員会 委員長 中島 和夫

## 笑顔あふれる橘地区を目指して

橘地区社会福祉協議会 会長 小宮 秀樹



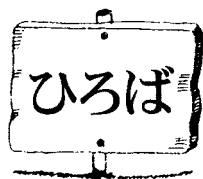
皆様こんにちは。私は森昭司前会長の後任として橘地区社会福祉協議会の会長を務めさせていただくことになりました小宮秀樹です。どうぞよろしくお願いたします。

日頃より地域の皆様には、橘地区社協の活動に対しまして、大きなご支援をいただきありがとうございます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは、様々な行事が地区社協に限らず、町内会・自治会を初め多くの団体等で再開されました。3年振りということで準備も大変でしたが、やっと再開できたという喜びは、そこに集う多くの人の笑顔から感じる事ができました。

年が明けて令和6年、さあこれからと思う間もなく元日の午後、能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。被災された方々に改めてお見舞いを申し上げるとともに、復旧・復興が加速され平穏な生活に一日も早く戻られますよう強く祈念をいたします。

橘地区社協はこれからも、地域の皆様と共に「明るく豊かな住みよいまちづくり」を目指して、地域課題の解決に向けた活動を推進してまいります。皆様の温かいご支援を心からお願い申し上げます。



### 橘地区内の福祉施設を紹介します

介護老人福祉施設すえなが  
施設長 平山 みちる



すえなが

「高齢者福祉施設すえなが」は、平成8年4月に旧養護老人ホーム恵楽園の跡地に開設され、養護老人ホーム50名、ケアハウス50名と特別養護老人ホーム120名の複合施設となっています。

高齢者施設にとって、この4年間は新型コロナからご利用者の命を守ることを第一に、その対策と

対応に追われる日々でしたが、昨年5月に感染法上の5類になったことから、常に感染予防を念頭に置きながらも、日常生活を取り戻しつつ、ご利用者の楽しみや安心に繋がる余暇活動や行事なども復活させています。

また、在宅関係においては、地域包括支援センターとケアマネジャーを配置しておりますので、お気軽にご相談ごと等いただければと存じます。

当法人のスローガンは「よりそい つなぐ ころろ」  
ご利用者とともに人生を豊かに、そして地域の皆様とともに、暮らしやすい地域づくりにお役に立てる施設となるよう尽力させていただきます。

橘地区の皆様  
の長年のご協力に心から感謝を申し上げます。これからもどうぞよろしくお願致します。



# 橘地区社会福祉協議会の活動について

## 「地域ふくし講座」を開催して 厚生福祉部会 中尾 純子

令和5年度も橘出張所の会議室をお借りして、10月から11月にかけて3つの講座を専門講師の方に来ていただき開催いたしました。

第1回目は、「歳を取ってからの食事と栄養の話」  
食事(栄養)を取る口の衰えは、身体の衰えと大きく関係することを学び、口腔体操・筋肉体操も教えていただきました。

第2回目は、「高齢者の住まい選びについて 施設入所を考える時期は？」

高齢者施設の詳細や施設選びのポイントを解かりやすくお話ししていただきました。要介護1・2でも条件により特別養護老人ホームに入所できることも知ることができました。

第3回目は、「なかなか聞けない 排せつ介助用品の話」

紙おむつの構造を学び、パンツ式やテープ式など生活動作に合わせて選ぶことや、パッドを振って開

くと吸収体が崩れて漏れの原因になってしまうことなど教えていただきました。

3つの講座終了後にアンケートを取らせていただき、受講者皆さんが「大変参考になった・参考になった」と回答されていました。

帰り際には笑顔で「お話を聞いて安心しました」「ありがとうございます」と多くの受講者の方から声を掛けていただきました。

次回も皆さんの身近な課題解決となる講座が開催できるように取り組んでまいります。

㊦だんの㊧らしの㊨あわせと安心をこれからも心掛けてまいります。



## 地域の福祉施設を知る取り組み 企画調査部会 五十嵐 静治



橘地区の福祉施設を知る取り組みとして、新作にある「小規模多機能型居宅介護事業所 SOMPO ケア川崎新作」と「有料老人ホームそんぽの家溝の口」を見学しました。

当日は部会員6名が参加。ミーティングルームで説明を受けた後、小規模多機能の居住スペースの見学。利用者の皆様は、フロアに配置されたテーブルの周りで椅子に腰かけて過ごしていました。送迎時間は利用者の都合に合わせてくれるとのことでした。利用者の皆様は私たちに違和感を抱く様子もなくリラックスして生活されていました。

続けて、隣の有料老人ホームを見学。各フロアを

紹介していただきました。現在は満室とのことで部屋の中は見学できませんでしたが、利用者の皆様はフロアで落ち着いた感じでテレビを見たりして寛いでいました。このホームでは毎月1回「子ども食堂」も行っていて、地域の方々にも知ってほしいとのことでした。

その後は「SOMPO ケア川崎新作」の生活支援コーディネーターの方から、通所サービスのことや生活支援コーディネーターの役割について講義を受けました。今後も地域福祉の見識を広げる研修に取り組みたいですね。



## ウォークラリーにおける豚汁提供について

女性部会 高木 節子

コロナ禍での中止や人数制限等を乗り越えて令和5年度は11月3日(金)に通常開催することが出来ました。

橘地区社協女性部会として食事提供について細部まで把握しているスタッフが少なく準備の段階から打ち合わせを密に行いました。今までのカレーライスから豚汁・おにぎりに変更し、150食の豚汁を時間通り提供するために準備から提供までの細かな時間割表を作成し、スタッフ全員が同じ意識のもとで動けるようにしました。お陰様でゴールしたあとすぐに食べていただくことが出来ました。

参加した59名、当日手伝ってくれた中学生達、運営スタッフ皆様に好評で残すことなく完食でした。参加者の「美味しかった!」の声にスタッフ一同来年も地域の方々が楽しめるウォークラリーになるように協力して行きたいと思っております。



## 中学生と福祉を語る会

青少年部会 北見 紀子

青少年部会では、福祉の理解を広めるために「中学生と福祉を語る会」と題して、中学校での講演会を行っています。令和5年度は、車いすダンスサークル「アスター」の方々を橘中学校にお呼びし、一年生の生徒300名が参加しました。

講師の方には、車いすダンスを通じて障害のある方と関わるようになったきっかけをお話しいただいたり、当事者の方々には、中学生からの率直な質問に答えていただいたり、一緒にダンスを踊ったりしました。生徒からは「とても楽しそうに踊っているのを見て、自分たちも楽しくなった」「車いすで社交ダンスができるのを初めて知った」といった楽しさや驚き、「障害がある場所以外

は、皆さんと変わりませんという話が印象に残りました」などの感想がありました。

今日の体験が、生徒の心に残り、福祉のまちづくりの一助になれば幸いです。



## 車いす貸出事業(無料)

橘地区社会福祉協議会では、橘地区に在住、在勤、在学の方が、ケガや介護などで、一時的に車いすが必要になった場合に無料でお貸ししています。(原則1か月以内) 担当地区の民生委員児童委員または、お近くの車いす担当者へご連絡ください。

地域	担当者名	電話番号	タイプ
末長	澁谷 博	866-9711	自走
	各務明日香	877-2756	自走
	小黑 欣三	833-9222	介助
新作	加藤 敦子	888-2149	介助
	石川 秀子	866-4360	介助
	小林 君子	866-5967	介助
千年	小宮 茂	754-1415	自走
	吉田 清	382-3088	自走
	小泉 健一	777-3531	自走

地域	担当者名	電話番号	タイプ
千年新町	白濱 昭	766-5896	自走
子母口	三浦紀代子	798-7510	自走
	柴田 司	752-6076	介助
久末	森 恒夫	788-7898	自走
	森 篤	788-3501	自走
	堀内 武雄	090-8179-0965	介助
	飯田 嘉徳	751-1591	自走
蟹ヶ谷	田村 恒子	090-6481-5275	介助
明津	秋元 一良	766-8607	介助

## 橘ふるさと祭りを振り返って

企画調査部会 中島 和夫

令和5年8月6日(日)4年ぶりとなる橘ふるさと祭りが市民プラザで開催されました。当日は朝早くから大勢の皆さんにお越しいただき、13時までの時間短縮ではありましたが大変賑わった橘ふるさと祭りとなりました。

社会福祉協議会では6年前まで各町会・自治会のご協力のもとバザー品を集め民生委員児童委員の皆さんが真夏の暑い中準備をし、出店して皆さんには大変好評を得ておりました。ところがバザー品も年々減少し、また暑い最中での作業のため体調を崩す人も出たことから5年前に残念ながらバザーの出店を中止しました。

それでは今回の橘ふるさと祭りに社会福祉協議会として何を出店しようかという事で検討を重ねた結果、

1.特に小さなお子さんにも喜んでもらえるゲームコーナー(輪投げ)、2.大人の皆さんの健康管理に役立つ社協ふれあいコーナー(健康チェック)を出店する事にしました。お陰様で両者とも好評をいただき、ゲームコーナーでは何回もチャレンジをするお子さんもおりました。また社協ふれあいコーナーでは①ベジチェック測定、②血管年齢測定、③体内時計測定を行い楽しみながら健康管理に役立てていただきました。

今回の結果をもとに次回は更にブラッシュアップし、皆さんに喜んでいただける社会福祉協議会の出店にしたいと考えております。



橘  
中学校

## 地域活動(橘の散歩道ウォークラリー)に参加して

東橘  
中学校

僕たち橘中学校男子バスケットボール部は橘の地域イベント「橘の散歩道ウォークラリー」にボランティアとして参加し、色々な人と関わりました。僕たちは参加者を楽しませようと工夫をすることを心がけました。そして、運営している地域の方々や色々な年代の方とふれあうことが出来て有意義な時間を過ごせました。このよう



な機会を与えてくださった運営の方々には感謝しています。僕たち、バスケットボール部は、「素敵なチーム」を目指しています。この経験をこれからの日々の練習にいかしていきたいです。

生徒会本部としての初めての校外での活動でした。地域の方と関わったことはもちろん、たくさんの方から地域のことや学校のことについてお話を聞いて、とても有意義な時間になりました。そして活動の中で感じたのは、これから地域を守っていくべき私たちが、今からでも地域の活動に多くの人に参加することで、この地域は活性化していくのではないかと思います。また機会があれば、校外での活動に参加させていただきたいと思っております。



## 橘地区社会福祉協議会の一年(令和6年度予定)

機関紙「橘の社会福祉」発行 4月1日  
高齢者ふれあい会食会  
(年6回 6、7、10、11、2、3月実施予定)  
末長ミニデイケア(毎月第2木曜日)  
橘ふるさと祭りへの参加(8月)  
子育て関連グループ情報交換会(8月)  
高津区社会福祉協議会賛助会員募集への協力(8月~9月)  
親子のつどい(秋・春)

赤い羽根共同募金運動への協力(10月)  
地域ふくし講座(10月~11月)  
橘の散歩道ウォークラリー(11月)  
年末たすけあい募金運動への協力(12月)  
車いす体験・操作方法講習会(冬)  
中学生と福祉を語る会(年1回 中学校にて開催)  
地区社協研修会  
総会、理事会、常任理事会、部会等各種会議の開催

令和5年度 高津区社会福祉協議会  
賛助会員及び賛助会費について  
橘地区内 841件の会員の皆さまより

1,285,000円

(前年度比 17,000円減となりました。)

皆さまにご協力いただきました賛助会費は、ひとり暮らしの高齢者を対象としたふれあい会食会や親子のつどい、ウォークラリーなどの地域福祉活動に使われています。

また、本機関紙を含めた、地域福祉推進のための広報活動にも使われています。

皆さまからの暖かいご支援ありがとうございました。